新教出版社・新刊案内　2022 年 4 月 25 日発売

〒 162-0814　東京都新宿区新小川町 9-1
Tel: 03-3260-6148 / Fax: 03-3260-6198 / Email: eigyo@shinkyo-pb.com

詩人は聖書をどのように表現したか

柴崎 聰［著］

四六判・上製・286 頁・本体 2,100 円（税込定価 2,310 円）
ISBN 978-4-400-62765-4　C1092

16 名の近代現代詩人を読む

キリスト教が日本文学の担い手たちに与えた影響は測りしれない。
では、聖書は詩にどのような影響を及ぼし、詩人は聖書をどのように表現したのか。
信仰者であり優れた実作者である著者のみがなしうる、透徹した読みを示す。

▶本書で取り上げる詩人たち

島崎藤村／三木露風／山村暮鳥／八木重吉／石原吉郎／安西均／島朝夫／高野喜久雄
片瀬博子／塔和子／澤村光博／高橋喜久晴／野村英夫／島崎光正／阪田寛夫／森田進

著者　**柴崎 聰**（しばさき・さとし）
1943 年、仙台市に生まれる。1967-2008 年、編集者として活動。現在、大学講師。博士（総合社会文化）。日本現代詩人会会員、日本詩人クラブ会員、日本キリスト教詩人会会員、日本キリスト教文学会会員。詩集『伏流の石』『⊠れ滝』『裸形の耳』『エマオの夜』『フクロウは昔ネコだった』（以上、花神社）、『教煌の風』（石文館）、『悲しみの岩』『テッセンの夏』『新・日本現代詩文庫 10　柴崎聰』『不思議な時間だった』『涙半分』『火の言葉』『香りの舟』（以上、土曜美術社出版販売）。『詩の喜び　詩の悲しみ』『文学の比喩　聖書の比喩』『石原吉郎　詩文学の核心』（以上、新教出版社）。編集・解説『石原吉郎セレクション』（岩波書店）。

【目次より】

序　章　新體詩の勃興
第一章　近代詩を開拓した先駆者たち
第二章　「なのはな」の詩人と「ほのお」の詩人
第三章　「表現する詩人」と「物語る詩人」
第四章　科学や数学に精通した詩人たち
第五章　エバやマリアに共振する詩人たち
第六章　意味場の詩人と叙物詩の詩人
第七章　四季派・叙情・童謡・牧師詩人たち
終　章　聖書の余白に贖われるプネウマの風
聖句索引／人名索引／事項索引